第21号　平成6年12月1日発行

福祉つるみ

題字　石田菊雄氏

編集・発行　社会福祉法人横浜市鶴見区社会福祉協議会
鶴見区福祉の風土づくり推進委員会
鶴見区役所地域福祉課内
ＴＥＬ　503－1212　内線304
印　　刷　朝日オフセット印刷株式会社

本紙は自治会・町内会のご協力で全世帯に配付しています。

みんなと町で生きる
―障害者地域作業所の活動を通して―

鶴見区でもさまざまなハンディキャップを持ちながら地域で生活している人達がたくさんいます。皆さんはこうした人達が働く「障害者地域作業所」をご存じでしょうか。

障害者地域作業所とは、就労することが困難な在宅障害者が、軽作業や生活訓練などを通して地域で生活することを目的とした施設です。

鶴見区には次の7か所の障害者地域作業所が活動しています。

①所在地、連絡先
②通所人数
③活動内容
④区民の皆様にご協力いただきたいこと
⑤作業所から一言

＜れんげの家＞

①北寺尾1－2－2
☎（584）0568
②20人
③月曜から金曜の9時から5時まで開所しています。
月1、2回のレクリエーションのほか、プリン石鹸や箸袋などの手づくり品の製作や、内職作業をしています。
④贈答品などをバザー用品としてご寄付いただければと思います。また、心の健康やボランティア活動に関心があり、何かやってみたいと考えていらっしゃる方、ぜひご連絡ください。
⑤プリン石鹸や手づくり品はご注文にも応じます。
気軽にお電話ください。

＜障害者地域作業所　虹＞



①元宮2－4－78
☎（585）3664
FAX（583）1718
②27人
③・ボールペン組立て
・紙すき（名刺、ハガキ、手紙セット、しおりなどを作る。）
・ストピカの製作（使用済みストッキングを輪切りにして編んだみがき布。羽田空港の売店でも販売しています。）
・アルミ缶圧縮作業
④・使用済みストッキングでみがき布を織っていますので、ストッキングの収集にご協力お願いします。
・アルミ缶の収集にご協力お願いします。
⑤作業のお手伝いをしてくださるボランティアを募集しています。

＜ふれあいの会　鶴見共同作業所＞



①生麦4－5－37
☎（504）0876
②24人
③障害を持つ人が地域でいきいきと生活してゆける環境の向上を願い、障害者自身によるさまざまな社会的活動を行っています。
また、陶器作りと販売の作業も行っています。
④⑤介助を必要とする障害者と外で出会ったときは、気軽に手伝って下さい。

＜精神障害者地域作業所　自然館＞

①馬場4－37－17
☎（583）7730
②20人
③国内産小麦粉、有精卵、玄糖など身体に優しい材料を使用して作ったバターロール、にんじん・かぼちゃのクッキー、パウンドケーキを作っています。その他に、バリ島の民芸品、自然丸石鹸を扱っています。
④自然館では今後バザーへの参加も予定していますので、ご家庭にある贈答品、日用品（タオル、石鹸、シーツ）などがございましたら、ぜひお寄せ頂けますようお願いいたします。
⑤パン、お菓子、その他自然館で扱っている製品は区内であればお届けすることもできます。
お気軽にご相談ください。

＜地域作業所　友愛の家＞

①佃野町1－21
☎（571）2208
②12人
③心身障害者の身辺自律の確立を願って、特に中高年者を対象とした社会生活訓練、作業訓練、体力の向上のための訓練などを行っています。
④⑤アルミ缶の収集などのリサイクル活動を行っていますので、ご協力下さい。

＜鶴見駒岡第二作業所＞

①梶山1－10－10
☎（583）6151
②10人
③電器部品の組立、毛糸の結び織りなどの作業のほか、体操、調理実習、農作業などのレクリエーションをやっています。
④結び織りに使用する毛糸を集めています。不要の毛糸があればお寄せ下さい。またバザーへ出品する日用品も集めていますので、皆さんのご協力をお願いします。
⑤みんなで楽しみながら毎日作業をしています。お気軽にお立ち寄り下さい。ボランティアの方も募集しています。

＜鶴見駒岡作業所＞



①駒岡4－39－46
☎（575）2656
②10人
③・ダンボールの組立
・贈答用ギフトボックスの箱作り
・アルミ缶つぶし
・体操（手話ダンスなど）
・調理実習
・野外活動（農作業など）
④アルミ缶の収集をしていますので、ご協力お願いいたします。
バザーへの献品をお願いします。
ボランティアさんも募集しています。
⑤頑張って毎日仕事をしています。ぜひ遊びにきて下さい。

以上の他、区内には精神障害者の授産所として鶴見ワークトレーニング・ハウス（豊岡町28－4、Tel 584－7250）知的障害者の授産所として鶴見福祉授産所（鶴見中央3－23－8、Tel 501－1736）があります。

12月9日は「障害者の日」です。これは昭和50年に「障害者の権利宣言」が国連で採択されたことにちなんで制定された記念日です。この日を中心に障害者福祉についてさまざまなキャンペーンが催されます。

障害者とともに生きる町づくりのため、より一層のご理解と協力をお願いいたします。

サルビア

横浜市では民生局を「福祉局」に、老人を「高齢者」にと、世の中のニーズに合わせた名称に変えると同時に、大幅な機構改革を行いました。鶴見区でも福祉と保健サービスの連携を強めるため、「福祉保健サービス課」が設置されるという機構改革が行なわれました。この動きは縦割り行政から横広がり行政に変わりつつあるしるしとして歓迎したいと思います。行政の横広がりは保健・医療・福祉の連携をもたらし、福祉サービスの向上につながるからです。今この社会に生きている幼・少・若・壮・老のすべての人びとが共に助け合い、共に生きる福祉の町づくりを目ざして、各地域の地区社協の充実発展を進めてまいりましょう。

（横井）

承認鶴見区第57号

視覚障害者のためのボランティア
―ブラインド・メイト「ワルツ」の活動―

代表　井岡　豊

ブラインド・メイト「ワルツ」とは視覚障害者のために点字訳、朗読録音、誘導などを行っているボランティアの集まりです。



視覚障害者手帳の所持者が約800名と、市内でも上位にランクされるほど多くの視覚障害者が鶴見区内で生活しています。にもかかわらず、平成2年頃までは、視覚障害者が点字訳、朗読録音などのサービスを受けようとすると、二俣川にある神奈川県ライトセンターなどの鶴見から離れた団体や施設に利用者が直接依頼しなければならないなど、大変不自由な思いをしてきました。平成2年、市内のいくつかの区でブラインド（視覚障害）メイト（仲間）の講座が開催されたのをきっかけに、平成3年4月、鶴見ブラインド・メイトが発足しました。「点字訳、朗読録音、誘導」の3拍子から会の名を「ワルツ」と名付けました。

現在では会員約50名、その他協力会員としてライトセンターの講座の受講者25人という多くの人が集まり、寺尾地区センターでの講座を中心に次のような活動を行っています。

＜定期的活動＞

1　視覚障害の方に依頼されての点字訳、朗読録音、誘導。
2　中途失明の方を対象にした点字指導。
3　テープ雑誌「ティータイム」の発行。

これは、60分くらいのカセット・テープにいろいろな生活情報などを視覚障害者に分かりやすく朗読録音したもので、年4回発行します。
4　福祉広報紙「福祉の窓」の点字訳と朗読録音。

＜随時的活動＞

1　視覚障害者との懇談会。

ワルツのメンバーやライトセンターの講座受講者と視覚障害者約40名との集いです。
2　視覚障害者との遠足。

視覚障害者と仲良くなろうという企画で、江ノ島に行ったりしています。
3　中学や高校の授業での指導。

矢向中学の福祉実践教室において誘導法を、また橘女子高等学校の社会的体験の授業において点字訳と誘導法の指導を行っています。

医学の進歩にともない、視力を失っても手術により回復される人も多くなりましたが、視力が回復せず自分の手や指の動きさえ判別できなくなる人もいます。人生の中途で視力を失うことはどんなにつらいことでしょう。しかし、視力を失っても苦難を乗り越えて社会復帰している人も多くいます。私たちも懸命にリハビリテーションを続ける人を見て、目の不自由な方のために微力でも目の代りができたらと思い、活動を続けています。

ブラインド・メイト「ワルツ」は、鶴見区内の約50名ほどの視覚障害の方々と交流していますが、その輪がより大きく広がり、お手伝いできる機会が増えることを願っています。また、視覚障害者をサポートしたいというボランティアの方をお待ちしています。

連絡先・井岡　豊
馬場1―25―15
Tel（581）1530

第2回上末吉地区　福祉まつり　盛大に！



さる10月16日（日）末吉地区センターにて上末吉地区の福祉まつりが開催されました。従来はバザーだけでしたが、今回はバザーや模擬店に加えて、鶴見区医師会のドクターによる医療相談、鶴見薬剤師会の方々による介護用品等の展示、保健所保健婦による健康相談、福祉事務所ケースワーカーの福祉相談のコーナーや福祉保健のパネル展示、老人福祉ビデオの映写など、地区センターの内外をフルに活用して多様な形で行われました。

主催は上末吉地区社会福祉協議会と同地区自治連合会で、町内会、婦人部、民生委員、保健指導員、青少年指導員、体育指導員、消費生活指導員、子供育成会、消防団、老人福祉推進員など約140名の方々が朝8時半から準備にかかり、10時から開始されました。

開始前には長い列が出来て、子供からおとしよりまでおよそ2千人の人がセンターに集まり午後3時の終了時間まで秋の一日を楽しみました。みんなで力を合わせて地区のいろいろな福祉活動の資金づくりのバザーをすると同時に、医療や保健や福祉について相談したり、知識を得たりする機会にもなる今回の福祉まつりは先駆的なこころみとして大いに意義があったのではないでしょうか。



善意のご寄付をありがとうございました。

平成六年七月一日～九月三十日
（　）内は寄付回数です

金銭をお寄せいただいた方々

○福田キヨ様
○小嶋七郎様
○長岡重雄様
○中村国政様
○八木下宏様
○亀山實様
○神保修治様
○横溝金作様
○樋高礼子様
○高市早苗様
○野ばら会様
○希望更生会様
○鶴見塗装協同組合様
○草ノ実会様
○ハートいっぱいコンサート公演実行委員会様
○鶴見区婦人団体連絡協議会様
○アドバンステック㈱様
○東京電力㈱鶴見支社様
○鶴見区佛教婦人会様
○アクア鶴見様
○小林義男様
○石川トキエ様
○田原ノブ子様(3)
○三須洋子様(3)
○工藤高之祐様(3)
○戸井田啓治様(2)(3)
○小野梅子様
○黒川ヤス様
○股野藍子様
○鈴木一郎様
○内田八江子様
○下末吉本町町会様
○㈱フタバ電業社様
○匿名様

物品をお寄せいただいた方々

○島田　孝様
○高市早苗様
○横浜鶴見ライオネスクラブ様
○新井竹一様
○阿部様
（順不同）

福祉基金にみなさんの善意を

福祉の増進を望む声と共に鶴見区社会福祉協議会への期待も高まってきました。

今後、社会福祉協議会がより一層の福祉増進を目指すために、みなさんの善意を福祉基金にお寄せください。

（問い合わせ先）
鶴見区鶴見中央3―20―1
鶴見区役所3階3番窓口
社会福祉法人
横浜市鶴見区社会福祉協議会
☎503―1212（内304）

第13回鶴見区社会福祉大会のお知らせ

平均寿命の伸長にともない「ねたきり老人」や「呆け老人」が増加しています。また、75歳以上の高齢者人口の増加による保健・医療・福祉の様々な課題を解決する必要があります。

住み慣れた町や家で、最後まで安心して暮らすための地域での介護の方法をみなさんと一緒に学びましょう。

◆日　時　平成7年1月21日（土）　午後1時開場　午後1時30分開会　※入場無料
◆会　場　鶴見公会堂ホール（JR鶴見駅西口）
◆内　容　第1部＝式典・福祉功労者の表彰　　第2部＝講演「あたたかい地域介護を求めて」　西嶋医院院長　西嶋　公子
◆問合せ　社会福祉法人横浜市鶴見区社会福祉協議会　鶴見区福祉の風土づくり推進委員会　☎503－1212　内線304